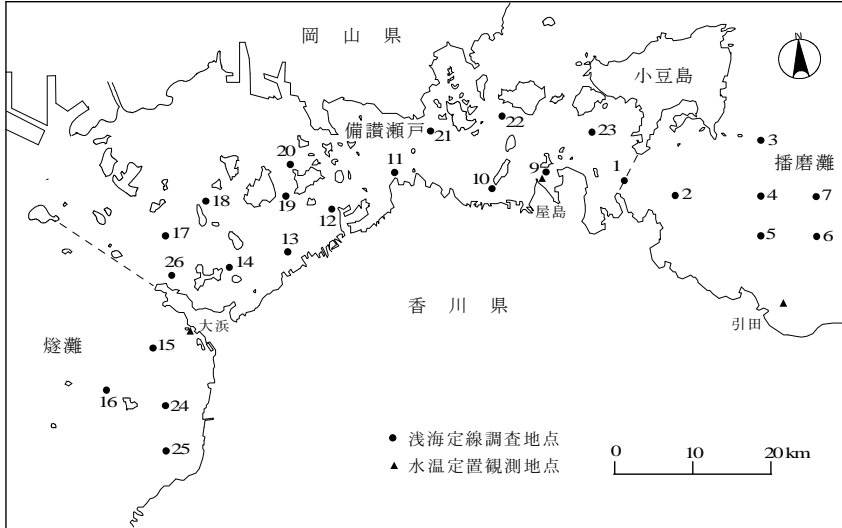


香川県漁海況情報 平成24年1月 (H23-10号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成24年1月6日（備讃瀬戸，燧灘），10日（播磨灘）

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからやや高め」、塩分は「かなり低め」、透明度は「やや低めからやや高め」、溶存酸素は「平年並み」であった。

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	12.9	13.0	13.2	31.5	31.6	31.7	9.8	6.03	5.92
	平年値	12.5	12.4	12.4	32.5	32.5	32.5	7.7	5.96	5.92
	平年偏差	0.5	0.6	0.8	-0.9	-0.9	-0.8	2.1	0.07	0.00
	標準偏差(σ)	1.0	1.0	1.1	0.6	0.6	0.6	1.9	0.23	0.25
	状 況	平年並み	平年並み	やや高め	かなり低め	かなり低め	かなり低め	やや高め	平年並み	平年並み
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	11.5	11.5	11.5	31.5	31.5	31.5	6.3	6.03	5.96
	平年値	11.9	11.8	11.8	32.6	32.6	32.6	5.6	5.96	5.97
	平年偏差	-0.4	-0.4	-0.3	-1.1	-1.1	-1.1	0.7	0.07	-0.01
	標準偏差(σ)	0.9	0.9	0.9	0.6	0.6	0.6	1.6	0.25	0.24
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	かなり低め	かなり低め	かなり低め	平年並み	平年並み	平年並み
燧 灘	4地点平均値	12.5	12.5	12.6	32.1	32.1	32.1	5.7	6.08	5.88
	平年値	12.5	12.5	12.6	32.8	32.8	32.9	7.5	6.05	5.93
	平年偏差	0.0	0.0	0.0	-0.8	-0.8	-0.8	-1.8	0.03	-0.05
	標準偏差(σ)	0.8	0.8	0.8	0.5	0.5	0.5	2.0	0.27	0.20
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	かなり低め	かなり低め	かなり低め	やや低め	平年並み	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温，塩分及び透明度：昭和48年（1973）1月～平成13年（2002）12月

溶 存 酸 素：昭和48年（1973）2月～平成13年（2002）12月

水温は，毎月1日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

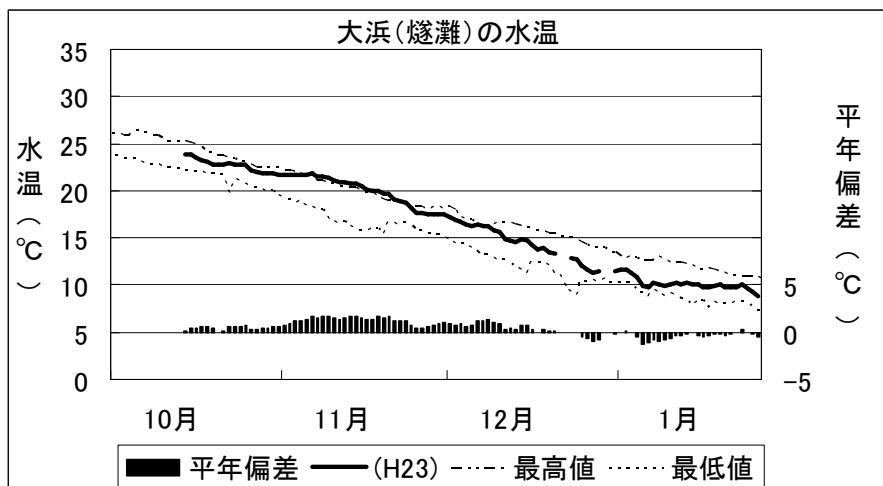
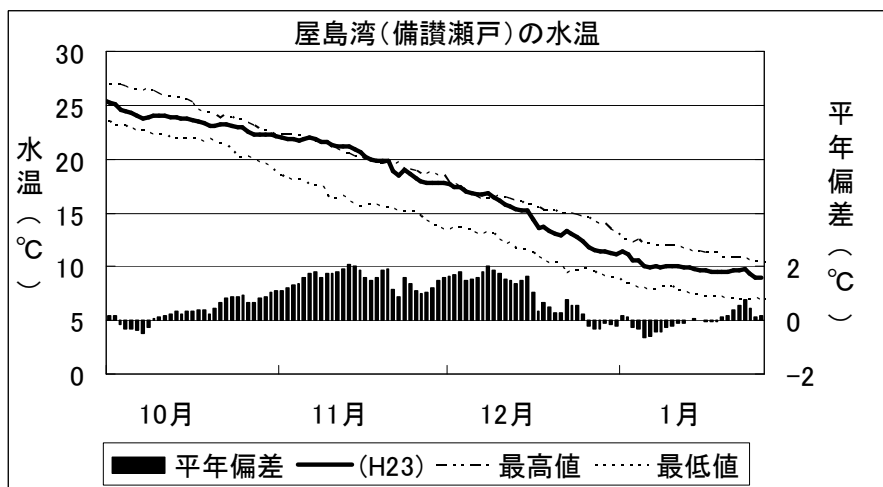
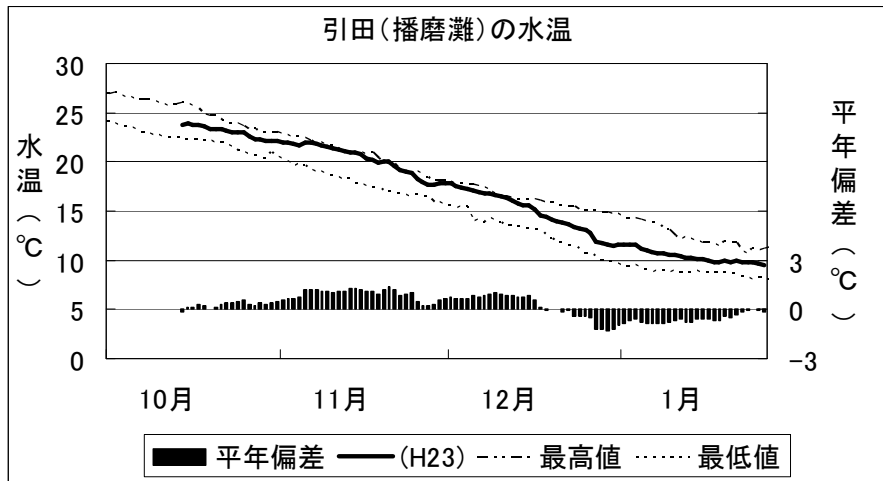
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 9月3日から10月13日まで欠測。10月14日以降は平年並みからやや高め、11月はやや高めからかなり高め、12月はかなり高めからやや低め、1月はやや低めから平年並みに推移している。(11月に5回、12月に1回、過去最高値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 10月は平年並みからやや高め、11月はやや高めから著しく高め、12月は著しく高めから平年並み、1月は概ね平年並みに推移している。(11月に12回、12月に4回、過去最高値を更新。)

燧灘 (大浜) : 9月3日から10月13日まで欠測。10月14日以降は平年並みからやや高め、11月はやや高めから著しく高め、12月はかなり高めからやや低め、1月はやや低めから平年並みで推移している。(11月に17回、12月に2回、過去最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成22 (2010) 年
屋島 : 昭和50 (1975) ~平成22 (2010) 年



4) 赤潮 (12月20日～1月25日)

播磨灘：1月10日に播磨灘全域で確認された *Eucampia zodiacus* による赤潮は現在も継続中である。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成24年1月6日（備讃瀬戸，燧灘），10日（播磨灘）

出現量

ー：平年値が0の場合を示す。（その他の魚類については平年値がない。）

平年値の算出期間

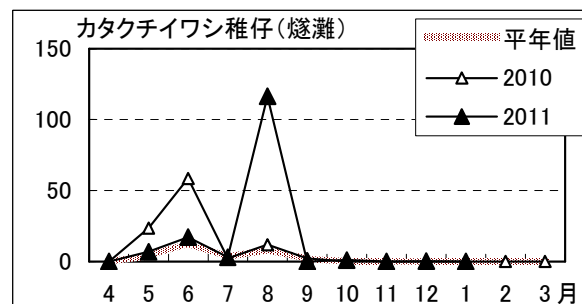
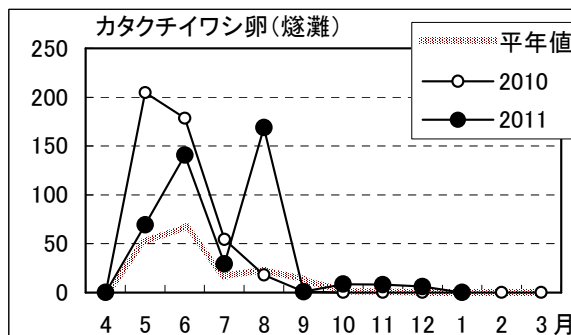
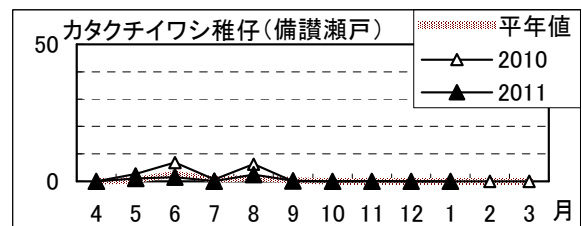
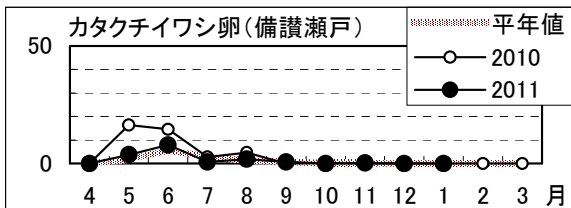
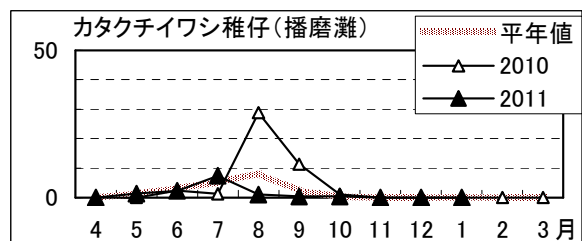
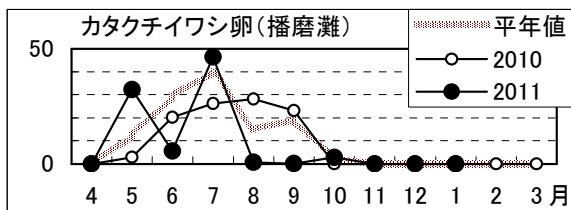
カタクチイワシ：昭和55（1980）年度～平成22（2010）年度

マイワシ：平成6（1994）年度～平成22（2010）年度

イカナゴ：昭和56（1981）年度～平成22（2010）年度

マイワシの卵・稚仔は，平成14年度以降，確認されておりません。

		カタクチイワシ		マイワシ		イカナゴ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	平年値	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	2.5		
	対平年(%)	-	0	-	0	-	0		
備讃瀬戸	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.9
	平年値	0.0	0.0	0.2	0.5	0.0	4.7		
	対平年(%)	-	-	0	0	-	3		
燧灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.1		
	対平年(%)	0	0	0	0	-	0.0		
総平均	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.8
	平年値	0.0	0.0	0.2	0.3	0.0	3.4		
	対平年(%)	0	0	0	0	-	2		



2. 漁況

1) 12月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網ではマダイ、スズキ、タチウオ、コイチ、シロギス、ヒラメ、メイタガレイ、ウシノシタ類、マアナゴ、クルマエビ、小エビ類、アカニシなどが漁獲されている。</p> <p>柵網ではマダイ、クロダイ、マアジ、コノシロ、マイワシ、タチウオ、マコガレイ、ナシフグなどが漁獲されている。</p> <p>建網ではメバル、カサゴなどが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網ではマダイ、クロダイ、スズキ、シロギス、タチウオ、ヒラメ、メイタガレイ、ウシノシタ類、マアナゴ、フグ類、アカエイ、イイダコ、アカニシなどが漁獲されている。イイダコは依然、平年より少ない。</p> <p>建網ではマダイ、メバル、カサゴ、セトダイなどが漁獲されている。</p>
燧 灘	<p>底びき網ではオニオコゼ、ネズッコ類、メイタガレイ、イヌノシタ、フグ類、ガザミ、シャコ、シラサエビ、小エビ類などが漁獲されている。ガザミおよび小エビ類は例年より多いが、イヌノシタは少ない。</p> <p>建網ではキジハタ、メバル、カサゴ、マコガレイなどが漁獲されている。</p>

2) 香川県の漁獲情報

(1) 漁獲管理 (TAC) システムデータ

日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした全国システムで、本県では以下の産地市場に整備されています。

(2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物(香川県全体から集荷されている)について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したものです。

